

# 子どもの「自分らしく生きる力」を支えよう！ ～家庭でできるキャリア教育の実践～

# 長野県PTA新聞

発行

長野県PTA連合会

長野市旭町1098信濃教育会館内

TEL 026-235-4361

発行者/熊谷 弘

編集者/高山 顕光

長野県PTA連合会HP



チーム信州PTA!



コーチングオフィス  
ジェイフィールド代表  
山口順子さん

キャリア教育とは、子どもたちが「生きる力」を身につけ自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方の実現を促す教育である。  
子どもたちは今、職場体験をはじめとて多くのことを体験から学ぶ機会を失っている。そこで、各地でコーチングの講師を務めている山口順子さんに、家庭でできるキャリア教育について伺った。

### 子どもの自立 親との信頼関係

「親が子どもを育てる目的は？」初めてそのように問われたとき、私は大変戸惑いました。なぜなら、子育ての目的なんて考えたこともなかったからです。目的は「子どもを自立させること」と知って自分の関わり方を直視し、支援するあり方を学び始めました。  
子どもが自立できるようになるには親の影響が大きいのです。どのように関わるのかという以上に関係性(信頼関係)を築くことが大切だと考えます。

### 子どもには 生きる力がある

子どもには、自ら育つ力があり「もつと成長したい」「もつと頑張りたい」「よりよく生きたい」という生きる力を本来もっています。ですから、子

## 子どもの気持ちを受け止め、自分らしい生き方を支援する

息子が中学3年の時のことです。学校から帰ってきた様子がいつもと違いました。息子の部屋に行き「どうした…?」と聞くと「どうせ試験勉強が大事なんだろう!」と怒ったように言いました。話を聴くと、学園祭の委員と中学最後のサッカーの試合を大事にしたいという思いがあるなか、先生から試験勉強が大事だと言われたことがわかりました。  
「あなたはどうしたいの?」と尋ねたところ「1週間後の学園祭を成功させたい。それから、1カ月後のサッカーの試合を頑張りたい」と言いました。「優先順位は変わってもいいんだよ。あなたがやりたいことを優先させればいい!」そう伝えると、息子の目からポロっと一筋の涙がこぼれました。きっとホッとしたのでしょ。その後、文化祭とサッカーをやりきって、息子は試験勉強に専念しました。(山口さんの体験談)



するのではなく、子どもが困ったときに「あの人になら話をしても大丈夫」と思ってもらえるような「信頼関係」をつくるべく大切にすることが大切です。そのためには親自身が、「支配的な関わり」から脱却し、「支援的な関わり」へと意識的に自分の方を変化させていきましよう。

### 私は家族の一員 共同体感覚を育てよう

アドラー心理学において、幸せと感ずる条件には自己肯定感・信頼感・貢献感があります。この3つがあつて初めて、共同体感覚(私は家族・クラスの一員である)が育つと言われていて、自分のことが肯定でき

## 子どもを支える2つの関わり方

### ①聴き上手になりましょう

話を聴いてもらったと感じると、子どもは親が自分と共にいてくれたと感じ、安心感や信頼感を持ちます。  
・最後まで話を聴く心構えが大事。そして、自分の価値観で判断や評価をせず、意見を言いたくなる気持ちを押さえる  
・問題解決に急がず、子どもの気持ちに寄り添ってみる  
「子どもに何が起きていて、どう感じているのかな?」「本当はどうしたいのかな?」



### ②認め上手になりましょう

認めるとは「何の条件も付けず、あなたの存在そのものが大切でかけがえのない存在だと、子どもにわかるように大人が接すること」と言われています。  
・子どもの個性や長所を伝える  
・結果ではなく、姿勢や努力を伝える  
・適切な行動に感謝を伝える  
何気ない日常の行動にも存在を認める行為はたくさんあります。  
・挨拶をする  
・ねぎらいの言葉をかける など

でも、周りの人を信じて、周りの人を信じることができなければ幸せといえない。貢献する喜びを知り、私の存在は他の人に役に立っているんだと感じることが、人生を豊かにします。

### 子どもと一緒に 親も成長しましょう

私も子育てにおいてハラハラするときもありましたが「やってごらん」と後押しすることを心がけてきました。  
どんな大人になつてほしいのか、自分はどんな親でありたいのかを考え、子どもと一緒に成長していきましよう。

## クイズ! 何の仕事でしょう!



長野県PTA連合会では、キャリア教育の一環として動画を制作。職業当てクイズで、楽しみながらその仕事への理解を深められる。

子どもと一緒にクイズに挑戦!!  
ヒント①必要な力は「人の言っていることや行動を理解しようとする事」  
ヒント②場所は「家の中」  
ヒント③一番必要な道具は「包丁」  
ヒント④忙しい時間帯は「11時～、15時～、夕飯から寝るまでダタバタ」  
ヒント⑤やっていてよかったと思うときは「人から感謝され「また来ます」と言ってもらったとき」

答えは動画で!



## キャリア・パスポートもってるよ!

～2020年4月よりすべての小・中・高で実施～

あらゆる体験と経験を通して、自分自身はどんな成長をしてきたのか自己評価を記録し、学習状況やキャリア形成を振り返り見通すための冊子。運用については、各学校で工夫している。子どもに聞いてみよう!

## これもキャリア教育だよ!

- ・子どもと一緒に食事を作る
- ・子どもと一緒にDIYをする
- ・子どもと家庭菜園に挑戦する
- ・家の中で宝探しゲーム! お宝、隠し場所、ヒントなど一緒に考える
- ・親が仕事であった嬉しかったことを話す(仕事の愚痴はNG)
- ・親の頑張っている姿を見せる

学校法人 鹿島学園高等学校 飯田校  
通信制課程 連携  
多数の芸能活動者、アイドル、スポーツ選手、社会人が卒業を目指している  
キャンパスは 駅近!  
今の時代だから 通信で高校卒業!  
無理なくできる 高校卒業  
ご相談ください! ※高校生の転校も可能です。  
中学生説明会実施中!  
要予約 10:00～17:00  
転入・編入 随時受付! 要予約 10:30～17:00  
入学相談会開催!(学校説明会)  
個別指導にも集団一斉授業にも対応!  
生活保護・ひとり親・コロナにより影響を受けたご家庭に 学費軽減制度有り!  
コロナ感染予防対策で タブレット添削  
学校法人 鹿島学園高等学校 飯田校  
長野県飯田市元町5430-5 第一吉川ビル301 JR飯田駅から徒歩2分  
入学相談室 ☎050-6861-2519  
夏の甲子園初出場!

長野県PTA連合会  
0-157などの特定感染症や新型コロナウイルス感染症を発症した ※H・S・Bプラン対応  
学校等から貸与されたタブレットをこわれた(家庭でこわれた) ※H・S・B・Cプラン対応  
～大切なお子さまのための保険です～  
信州子育て応援総合補償制度  
令和4年度より名称変更いたしました。(旧名称:小・中学生総合補償制度)  
GIGAスクール構想における学校等から貸与されたタブレット等情報機器に対する損害賠償責任補償が追加されたプランや、0-157などの特定感染症や新型コロナウイルス感染症に対する補償がついたプランを増やすなど補償内容も充実いたしました。  
※詳しくは1月に学校を通じてお配りするグリーン色の封筒に入ったパンフレットをご覧ください。  
作成年月2022年1月 承認番号B21-1979-20230120



# 豊かな人生を考え実現するための教育を 長野県教育委員会と長野県PTA連合会との教育懇談会



PTAから教育委員会へさまざまな意見、要望が出され有意義な懇談会が行われた

11月9日信濃教育会館において、長野県教育委員会と長野県PTA連合会との教育懇談会が開催され、4つのテーマを中心とした意見交換が行われた。

冒頭で県P熊谷会長は、県Pの活動としてSDGs、ICT機器に対する補償拡充、キャリア教育への取り組みに触れ「この機会に多くのことを学び、今後の活動に活かしていきたい」と挨拶した。続いて、原山教育長は「県教育委員会では学びの改革を重要課題として取り組んでいる。誰一人取り残されることなく、豊かな人生を考え実現するためにPTAの協力をいただき、率直な意見交換を通じて理解を深め、子どもたちの学びを実現していきたい」と述べた。

以下に主な内容を載せる。  
ICT教育の導入の現状と家庭での活用  
のあり方について

県P・ICT教育の導入の現状と家庭での留意点について意見をいただいた。県教委・1人1台端末は、授業だけでなく家庭学習にも活用されること、臨時休業となった場合の学習を保障するための活用が期待されている。臨時休業の際にオンラインによる学習ができるよう、各校では準備が進んでいる。



熊谷会長、原山教育長、藤牧副会長(教師代表)

「生きる力」を育むための学校・家庭・地域の連携のあり方  
県P・コロナ禍により学校での生活が制限され、これまでのように学んだり遊んだりすることが難しくなりました。保護者や地域の方と関わりながら体験的に学ぶ機会が減少しているのが心配だ。このよう

な状況のなかでも、継続できる方策を共に考えていきたい。県教委・今まで行われていたさまざまな世代との交流や体験活動をICTを活用して行うなど、新たな連携の形も模索されている。

保護者に留意していただきたい点は使用時間、健康面への配慮、個人情報や著作権等の扱い方である。トラブルが起きた場合の問い合わせ先を学校と事前に共有していただきたい。持ち帰りについては各学校で作成しているルールを確認し、お子さんと一緒に話し合いながら「家庭内の約束」を作ることを勧めている。

今後についても先が見通せない状況ではあるが、これまで促進してきた連携・協働が継続されるように努めていく。

## コロナ禍における子どもたちの心身の状況

県P・コロナ禍での環境の変化が、子どもたちの心身の発達に影響を与えていると感じる。不登校や学習不応答、いじめなどの問題が起きていないか心配だ。さらに、経済環境の悪化により十分に食事が摂れなかったり、学用品が揃わなかったりする児童への支援が必要。学校や家庭でできることを話し合いたい。県教委・児童生徒の行動観察、本人や保護者への聞き取りをして実態把握を行い、児童生徒の気持ちに寄り添った指導と支援の充実を図る。就学援助が実施される

よう、財源措置を国にも求めていく。学校に、差別や偏見防止の取り組みを依頼すると共にスクール・サポート・スタッフの配置拡充を行った。引き続き推進していきたい。県では、子どもに無料又は低額で食事提供や学習支援を行う子どもの居場所「信州こどもカフェ」の設置を推進している。高校再編と新しい高校入試制度  
県P・保護者のみならず、学校再編の対象となる地域でも「どの学校が残る、地域の高校教育がどう変わるのか」に関心がある。高校再編の進捗状況と新たな入試制度について知りたい。

## 第53回 日本PTA関東ブロック研究大会 埼玉大会

10月16日、日本PTA関東ブロック研究大会が埼玉県で開催された。「つながるうんと人」の国から未来に向けて「子どもたちの豊かな心と生きる力を育むために」をスローガンに、記念講演はライブ配信、6つの分科会は動画配信された。



尾木直樹氏 教育評論家 法政大学名誉教授 臨床教育研究所「虹」所長

## 記念講演 「コロナ時代を生き抜くチカラ」 皆さんと一緒に考える

尾木氏は記念講演で「コロナ時代、大人も子どもも思うように人と会えない、話せない、遊ぶこともできないなど、コミュニケーションがうまくとれないという状況がある。ICT環境が進むなかにあってもそのような状況には、大人も子どもも人間力の養成が必要だ」と語った。

## 相づちと共感で心に力を

AIの登場・発達により、IQ(知能)よりもHQ(人間力)が問われるようになってきた。人間力とは「AIを使える力」という側面がある。特に子育ての面では、子どもの気持ちを把握して共感する「叱らないしつこく」が大切だ。子どもが失敗したことに對し、親が感情にまかせて頭ごなしに怒鳴ってはいけない。語尾を上げる優しい口調で「どうしたの?」と聞くことで、原因や理由を知ることができ、そこで「そうかい、そうかい」と相づちをうち「それは大変だったね」と共感すると、子どもの心は元気がでる。

## 分科会

第1分科会では、上田市立長小学校PTAによる「わんぱく交流会を通してPTAと地域ができること」が動画配信された。「食」を通して命の大切さや地域の食材、大人との関わりを児童が学ぶ取り組みについて発表した。(活動内容は県PTA新聞第235号・YouTubeチャンネルをご覧ください)



心に力がみなぎる環境を整えると、子どもは問題が起こったときそれを乗り越える方法を考え、解決することを通して人間力を高めていく。

県教委・高校再編については「高校の将来像を考える地域の協議会」からの意見・提案を踏まえ進めている。再編・整備計画で示した新校については、県民の声と地域の意見を聞きながら、魅力ある高校づくりを進めている。入試制度の主な変更点に、前期選抜での基礎力の定着を確認する学力検査の導入、後期選抜での主体性や意欲を確認するための面接の実施がある。各通学区での説明会の意見を基に、受検生にとってわかりやすく過度な負担にならない制度となるよう、検討を重ねたい。

原山教育長は講評のなかで「今までは平均的な集団を想定した一律的なアプローチがモデルだったが、今は一人ひとりの違いを認め、個人にカスタマイズしたアプローチするモデルに転換している。自分の人生を豊かにすること、そのためにはどうあればいいかを考えていきたい」と話し、懇談会は閉会した。

## ネットモラル子どものネット利用の現状と キャラバン隊 家庭でのルールづくり

1月23日、文部科学省委託事業「ネットモラルキャラバン隊 長野県フォーラム」がオンラインで開催され、その模様は「長野県PTA連合会Youtubeちゃんねる」にてライブ配信された。兵庫県立大学准教授の竹内和雄氏がコーディネーターを務め、虎ノ門南法律事務所の弁護士である上沼紫野氏がパネリストで加わり、大阪・東京・長野をオンラインで結びディスカッションを行った。竹内先生は「家庭のルールは必ず親子で話し合い、年齢に合わせる」「ゲーム・ネット時間をコントロールできる、自分で考えられる子どもに、社会全体で育てる必要がある」と話し、上沼先生は「子どもが相談できる環境づくりが重要。弁護士会のLINE相談などもある。信頼できるところに相談を」と語った。



竹内先生の関西のノリで、和やかなフォーラムの様子はこちら

スマホやタブレットを子どもに持たせるときに  
親子で考えよう  
スマホの使い方  
子どもとメディア信州代表 松島恒志  
こちらで提供中 amazon  
情報モラルを親子で学び「家庭内の約束」を作ります。  
親子で学べる2冊構成  
●A5判 ●定価1,980円(税込み) ●発行:信州教育出版社(026-232-0291)



### コロナ禍における

## PTA活動のあり方

### ～PTAバザーを中心に～

佐久市立中込中学校 PTA

PTA活動の中核であるPTAバザーや資源回収は、子どもたちに「地域とのつながりやPTA活動などの多くの支えによって自分たちの生活が成り立っている」と感じてもらう場でもある。

コロナ禍により「PTA活動はできない」と判断する前に「どうすればできるか」という視点で話し合い、工夫して取り組むことにした。

令和2年度PTAバザーは、販売品や参加者を限定し、時間や会場を工夫して開催。今年度は警戒レベルにより開催中止でしたが、既に寄せられていた物品を参観日で販売したり、制服等のリユース活動も始めたりするなど、新たな取り組みを行った。



教育環境の維持や改善を目指す、学校が所有するスキー場の維持と教室の断熱工事の資金集めを、児童と協力して行う。その活動を通して地域社会との関わりや地域の環境等、児童の学びを深める。



収集を周知した。バザーはコロナ禍でも可能なカタログ販売とし、

### 資金集めを通じた

## 子どもたちの学び

### ～教育環境整備を目指して～

白馬村立白馬南小学校 PTA

の判断を尊重して実施。開催した地区では、保護者や住民が顔を合わせて地域の子どものことを話したり、悩みを相談したりできる場の大切さを再確認する機会となった。

コロナ禍でこのような場の必要性はより一層高まっていると思われ「参加してよかった」と思える形を引き続き追究していく。

主な資金源である資源回収と「PTAまつり(バザー)」のコロナ禍での開催を模索した。

児童は教育環境を維持するための資金集めを通して、SDGsや消費者心理を学んでデザイン検討をしたり、雪国での断熱やエネルギー効率についても授業で学んだり貴重な体験ができた。

# 第30次研究委嘱 私たちのPTA活動

## 生徒の成長につなげる

### ～観桜期活動親子ふれあい講座を通して～

伊那市立高遠中学校 PTA

4月の高遠城址公園の観桜期には、駐車場として開放された校庭の誘導等をPTAが行い、その傍らで生徒会が地元特産品の販売やトイレの清掃活動をしている。親は、観光客と接する我が子の姿に子どもの成長を実感する。より大きな成長を願い、観桜期活動をキャリア教育の実践の場と捉え「親子ふれあい講座」の変革を図ることとした。

今年度はコロナ禍の影響で講座を実施できなかったが、講師を探していくなかで地域の方々のつながりができた。また、キャリア教育に活かせる講師もご紹介いただいた。今後、PTA活動や生徒の総合的な学習の時間に役立てたい。

ポランティアとして学校に何かできないかと、PTAの役員経験のある

OBを加えて父親有志の会(おやじの会)が2011年に結成された。コロナ禍で通常のPTA活動が十分に行えないなかで「やれることをやれるときに」を大事に、おやじの会と連携したPTA活動のあり方を考えた。

おやじの会とPTAとが連携して行ってきた「楓の子夢広場」が中止となったが、代わりに音楽会のステージバックの「楓の虹」を製作することができた。また、PTA作業や資源回収への父親の参加が増えている。それぞれが連携して、子どもたちのために多くの会員が参加する姿は、PTA活動の本来の姿であるように感じる。

PTA活動が強制・義務ではない組織作りとなるように、引き続き取り組んでいきたい。

子どもが卒業した後にも保護者がチームとなり、楽しみながら活動している。そんな地域の大人の姿をみた子どもたちは、さまざまなことを学ぼう。それはPTA活動にも言えることだと感じた。

## おやじの会と連携した PTA活動のあり方

### ～ボランティア型の活動を目指して～

長野市立若槻小学校 PTA

OBを加えて父親有志の会(おやじの会)が2011年に結成された。コロナ禍で通常のPTA活動が十分に行えないなかで「やれることをやれるときに」を大事に、おやじの会と連携したPTA活動のあり方を考えた。

おやじの会とPTAとが連携して行ってきた「楓の子夢広場」が中止となったが、代わりに音楽会のステージバックの「楓の虹」を製作することができた。また、PTA作業や資源回収への父親の参加が増えている。それぞれが連携して、子どもたちのために多くの会員が参加する姿は、PTA活動の本来の姿であるように感じる。

PTA活動が強制・義務ではない組織作りとなるように、引き続き取り組んでいきたい。

子どもが卒業した後にも保護者がチームとなり、楽しみながら活動している。そんな地域の大人の姿をみた子どもたちは、さまざまなことを学ぼう。それはPTA活動にも言えることだと感じた。



講師を招き、ものづくりや合唱等に親子で取り組む「親子ふれあい講座」を、観桜期活動を充実させるためのキャリア教育の観点で見直す。「地域を知る」「地域の大人と

つながる」「地域で生きる良さを味わう」などをテーマとし、講師は多方面へアプローチして探す。地域の方が継続してご指導ご活躍いただければ、リストを作成し、次年度に引き継ぐ。

今年度はコロナ禍の影響で講座を実施できなかったが、講師を探していくなかで地域の方々のつながりができた。また、キャリア教育に活かせる講師もご紹介いただいた。今後、PTA活動や生徒の総合的な学習の時間に役立てたい。

PTA活動に父親が関わりやすい体制の構築が行うボランティア型の活動の計画

OBのPTA活動への参加のあり方

## 学有林で豊かな体験活動を!

### チーム信州PTAの仲間たちVol.3 安茂里もりクラブ (長野市立安茂里小学校PTA&OB)



「安茂里もりクラブ」は、歴代のPTA会長が中心となって立ち上げた組織で、PTAのOBが楽しんで活動しているという。その活動について、事務局長の町田英章さん(以下、町田)にお話を伺った。

「安茂里もりクラブ」はどんな活動をしているのですか? 町田: 昭和34年よりPTAが所有管理している、学有林(約6ha)の整備をしています。年に8回程度、間伐などの作業を行っています。学有林の維持管理のほか、児童と学有林をつなぐ活動をしています。

児童は学有林で遊べるのですか? 町田: 学校から離れているので普段は行かれません。年2回のイベントに親子で参加してもらっています。春はカタクリの観察を行ったり、秋の収穫祭ではキノコ狩りやキノコ汁を楽しんだりしています。ロープウェイ式やスイング式のターザンロープもあるので、体を使って遊ぶこともできます。

子どもが卒業した後にも保護者がチームとなり、楽しみながら活動している。そんな地域の大人の姿をみた子どもたちは、さまざまなことを学ぼう。それはPTA活動にも言えることだと感じた。



僕たち! 私たち! がつくっています!

# 信州の牛乳を飲もう!

長野県生乳生産販売委員会 信州 JA全農長野 長野県牛乳普及協会

毎年開催の料理コンクール受賞作品のレシピ等ご覧いただけます。

やっぱ信州の牛乳でしょ 検索



Let's enjoy!  
**食育**

# 長野県PTA連合会子育て委員会・安曇野市PTA連合会家庭共育委員会 共催 令和3年度 陽だまり懇談会



## 生きる力について大切な『食』を学ぶ

10月23日、オンラインにより「陽だまり懇談会」が開催された。今年度は、県PTA子育て委員会と安曇野市PTA連合会家庭共育委員会との共催で「生きる力」を育む家庭教育として『食』をテーマに様々な意見交換が行われた。県PTA子育て委員長、松田愛絵（あきえ）さんにお話を伺った。

### 『食』をテーマにした理由について

子育て委員会では、今年度「生きる力」を育む家庭教育を基本方針としています。今回の「陽だまり懇談会」は、生きていくうえで最も大切な『食』に関して学ぶ機会としました。

第一部のオンデマンド配信の長野県食育協会・田中雅子先生との座談会では、旬の野菜について、朝食の重要性、お米と味噌についてなど、基本的な『食』のお話をお聞きして、改めて親も子どもも学んでいきたいと感じました。

### 『食』のSDGsについて

SDGs12番目の目標「つくる責任つかう責任」のテーマの分散会では、余計なものを買わない、消費期限の短いものを意識的に購入、おかずは食べきれぬ量を作るなどの工夫が話題になりました。生産者への感謝の気持ちや、作る過程の大変さも意識することが大事だと感じました。子どもたちの方が、今学校でSDGsに関していろいろと学んでいます。

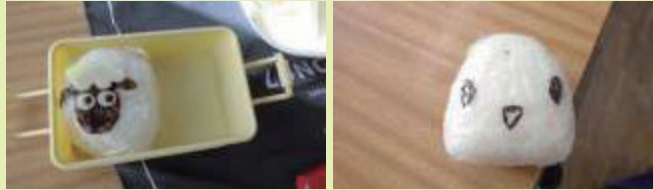
### 子どもたちに伝えたいこと

子どもたちがこれからの社会を生きるためには、健康やかな体や元気に毎日を過ごすことが一番大事だと思います。それには今から『食』の大切さを知ることが重要です。毎日ご飯を食べたり、『食』に関しての知識を学んだり、食べられるという喜びや興味、関心をもってもらいたいと思います。今私たちが伝えたことを子どもたちが大人になって思い出してほしいと思います。親は子どもへの幸せが一番に願っています。愛する子どもたちのために今できることを伝えていきましょう！

### 安曇野市PTAより紹介 安曇野市「手作り弁当の日」

安曇野市では、今年度より「手作り弁当の日」という取り組みをしている。「作ってもらったおかずを詰める」「一品作る」「おにぎりをにぎる」「買い物と一緒にいく」など各学校や学年、家庭に応じて行っている。食育効果があるこの取り組みを市内の全小中学校に広げていくことで、食育と親子の交流をねらった活動だ。「生きる力」の育成も期待されている。

#### ◇思い思いの手作りおにぎり◇



安曇野市立豊科北中学校ホームページより

## 春休み親子で作ってみよう！信州の郷土食

楽しく簡単にできる「五平餅」の紹介です。おうちで簡単にお作りいただけます。ぜひ親子でお試ください！

### ☆作り方☆

- 1 米を普通に炊き、熱いうちにポリ袋に入れて棒で叩いてつぶす。好きな大きさに分け、ラップに包み平たく丸める。※串に刺す場合は冷ましてからがGood。
- 2 いらごまとくるみをそれぞれすり鉢でしっかりすりつぶしておく。
- 3 みそダレは、分量の材料を鍋に入れ中火～弱火にかけて、とろみがつくまで混ぜ合わせる。
- 4 フライパンにサラダ油をうすくひき、1を焦げ目がつくまで焼く。
- 5 4にみそダレをつけてできあがり。



【材料 2人分】※例  
 ○ごはん（温かいもの）…お茶碗2杯  
 ○みそダレ  
 くるみ（無塩、ロースト）…10g  
 いらごま…10g  
 みそ…50g  
 料理酒…50cc  
 みりん…50cc  
 砂糖…20g  
 ○サラダ油…適量

## 「陽だまり懇談会」オンデマンド配信

長野県PTA連合会のYoutubeチャンネルより配信中！



生活の基盤となる「食」がテーマです。座談会「親も子どもも学びたい『食』の知識」では、目からウロコが落ちるような情報も満載。ぜひ、ご視聴下さい！！



長野県PTA連合会 Youtubeチャンネル

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症の急激な拡大に、県下ではこれまでにない厳しい対策がとられるなか、子どもたちの命と健康を守る大人の役割は大きくなりました。心身の成長を支え、夢や希望につながる私たちが大人の存在も一段と高まりました。今回は一面で、子どもの「自分らしく生きる力」を支える家庭教育を特集しました。取材を通して、子どもは本来「生きる力」をもっていることを理解し、自立に向けて支援的な関わりをすることの大切さを学びました。

このことは、教育懇談会での「自分の人生を豊かにする教育」、関東ブロック埼玉大会での「一人間力の養成」、陽だまり懇談会での「生きる力」と重なってきます。4校の研究発表、安曇野市よりクラブの活動紹介でも、その具体を見ることができました。

最後に、取材に応じてくださった皆様に深く感謝すると共に、本号が会員の皆様の学びの一助になれば幸いです。(T.A)

### ◇広報委員会

- ◎木村 献（諏訪西中）
- ◎吉家 充（高社中）
- ◎有賀 大祐（南箕輪中）
- ◎熊谷留理子（菅野中）
- ◎酒井 和彦（神川小長）
- ◎細江 洋司（松川小長）
- ◎鈴木 雅幸（三木小長）
- ◎石坂 晶子（鍋屋田小）

### ◇新聞編集部

- ◎高山 顕光（小山小長）
- ◎千野 美奈（下木小頭）
- ◎小林 恵美子（吉田小）
- ◎森山 奈々（安茂里小）
- ◎黒岩 直貴（松代小）
- ◎小林 朋子（福花中）
- ◎松澤 雅子（古牧小）
- ◎豊田 知恵美（柳原小）
- ◎小林 武史（附属長野小）
- ◎大日方 光子（傘井小）



子どもたちのために

公益財団法人 長野県学校給食会

〒381-0103 長野市若穂川田3800番地5  
TEL 026-282-6080 FAX 026-282-6535